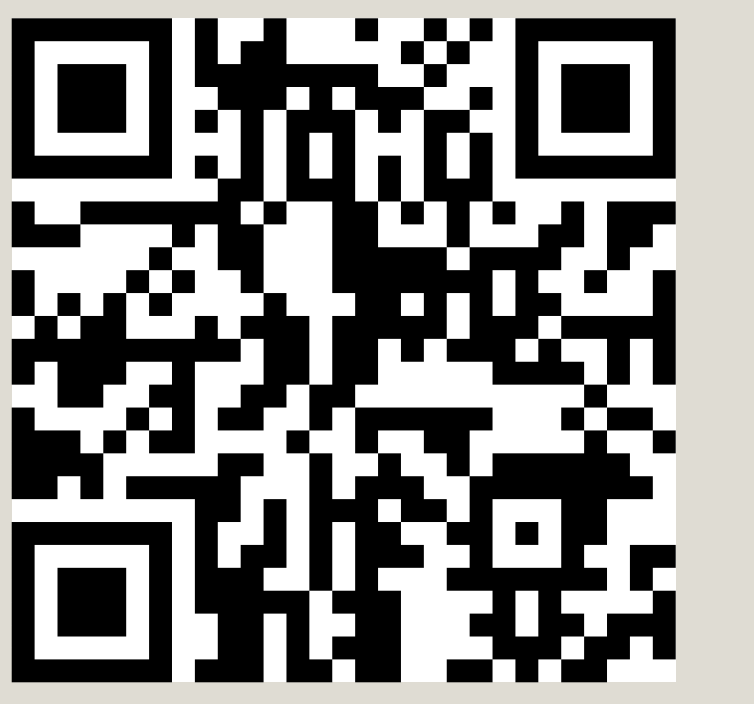


兵庫教育大学大学院

言語系コース (英語)

指導法、授業研究、学習評価、学習者要因、言語習得などの英語教育に関わる諸問題、および、英語学や英語文学に関する専門的事項を幅広く探究することができます。



もっと詳しいことはこちらから

これからの英語教育
についていっしょに
学びましょう！



2026年度学生と教員

何が学べる？

英語教育学、英語学、英語文学に関わる専門科目が開設されています。実習は、小学校、中学校、高等学校のいずれかで行います。1年目の「学校教育基盤実習」(4週間)※で、学校現場の課題について知り、教師としての基礎的な力量を身につけます。2年目には、「教科指導力向上実習」(6週間)で、実践研究課題に基づいた授業実践を通して、専門的力量をさらに高めます。
※教職等経験年数が3年以上の現職教員の方は、実習免除の申請をすることができます。

フレックスクラスは？

フレックスクラスは、決まった時間に大学に通学することなく、オンラインのみで修了できます。



ゼミって？

学生の実践研究の指導やサポートは、修学指導教員を中心に少人数で行われる「ゼミ」を通して行われます。学生は、修学指導教員の指導のもと、教育現場での実習を通して実践研究を行い、その成果を「教育実践研究報告書」にまとめて提出します(実践研究課題一覧をご覧ください)。

教員免許は？

小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状(英語)、高等学校教諭一種免許状(英語)をすでに取得している方は、所定の単位を履修すれば、専修免許状を取得することができます。また、中学校教諭免許状を取得していれば(もしくは、取得見込であれば)、小学校教諭2種免許状を取得可能な小中連携教育プログラムを受講できます。

どんな学生が学んでいる？

小学校、中学校、高等学校で教える現職教員の学生、これから教員を目指す学生が、一緒に学んでいます。いずれの校種における英語教育も実践研究の対象にすることができます。

学ぶ意欲の高い仲間に出会えたことも、大学院で得た宝だと感じています。同期とともに、グループラボで文献を読み込んだり、模擬授業を見合ったりと、共に学ぶ楽しさを味わうことができたことは大変幸せでした。(学生体験談より)



2025年度修了生の実践研究課題

- 日本語英語比較対照にもとづく小学校における英語音声の指導に関する考察
- 小学校外国語科における学習者エンゲージメントと教師の支援
- 小学校外国語科における「学習のための評価」に基づく児童の変容の研究
- 中学2年生を対象としたエデュテイメントを用いた英語スピーキング指導の実践
- 外国語学習における協同学習が小学生の動機づけに与える影響—動機づけの低い児童に着目して—
- 中学校の英語長文読解におけるパラグラフの概念を用いた速読の効果的な指導法の考察
- 中学校英語科の即興的なやり取りにビデオ通話が与える影響—発話の正確性・流暢性と英語スピーキングの不安感に焦点を当てて
- 中学校英語におけるシンセティック・フォニックス指導の実践—小中での読み書き指導の連携の提案—



動画はこちらから